

子育ては みんなの手で

～地域とともにある学校をめざして～

【下松市 久保中学校区】

地域の概要

久保中学校区は、下松市の北東部に位置し、自然環境に恵まれた農山間地域に大小の住宅団地が開発された、古き良き伝統に新しい力が融合した地域です。また、中学校区が久保公民館区と重なっているため、地域と小・中学校のつながりが強く、昔から地域と学校の協力的な風土ができています。

人口	10,011人	
世帯数	3,991世帯	
対象校及び児童生徒数	久保中学校	371人
	久保小学校	339人
	東陽小学校	243人

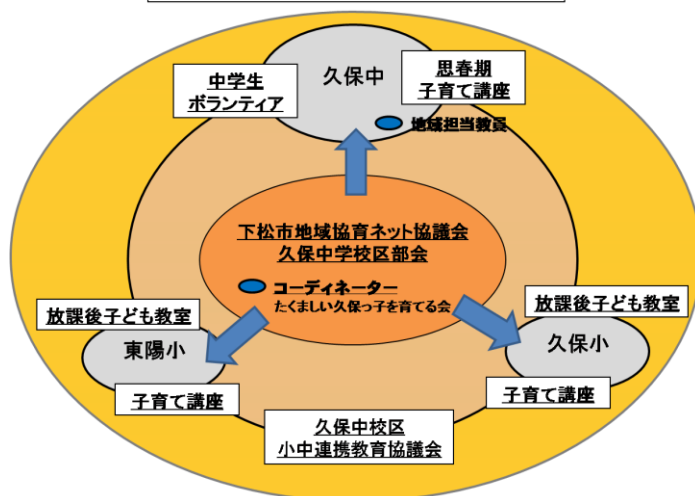
組織の内容

下松市では、学校・家庭・地域が連携し、学校支援、放課後支援、家庭教育支援などの教育支援活動を効率的、組織的に推進するための「下松市地域協育ネット協議会」を設立しており、住民参画による教育支援体制づくりを促進する方法を協議し、家庭や地域の教育力を活性化するための事業を行っています。

委員は、学校関係者や子ども会育成連絡協議会、PTA連合会、放課後子ども教室室長などで構成され、市内3つの中学校区に分かれた部会を設けており、情報交換や地域の特性を生かしたより具体的な取組について検討しています。

久保中学校区からは、「たくましい久保っ子を育てる会（以下「たく保」）会長と顧問も委員となっています。「たく保」は、小・中学校や公民館等と連携しながら、中学生ボランティアの推進や伝統芸能・文化の継承、子どもの安心・安全の見守り、放課後子ども教室の運営など、子どもの育ちや学びを地域ぐるみで支援する活動の中核であり、学校と地域、家庭と地域、子どもと地域を結ぶコーディネーターとなっています。

久保中学校区地域協育ネット



特色・重点的な取組

【学校間の連携】

久保地域は、学校と地域の連携・協働だけでなく、学校間の連携も密であり、他の中学校区の模範となっています。久保中・久保小・東陽小では、「義務教育9年間を見通し、小・中学校のなめらかな接続をめざした連携と協働」を重点目標に、「小中連携教育協議会」を年間4回開催するなど、3校の教職員が同歩調で地域の子どもの育ちを支援しています。

具体的な目標は以下に示す3点です。

- 各校の取組の認知と理解（相互理解）を深め、児童生徒の課題を明確（実態共有）にする。
- 義務教育修了に向けた、めざす児童生徒像の共有（目標共有）を図る。
- 実態や課題をもとに、めざす児童生徒像に迫る手立ての研究実践と連携システムを構築する。（発達段階に応じた手立ての共有と連携システムの構築）

主な活動の紹介

○学校間の交流活動

- ・1学期は久保中学校、2学期は久保小学校、3学期は東陽小学校を会場に、小中連携協議会を開催しました。会場校は、全クラスの授業を公開し、教科グループ別に研究協議を行いました。協議内容については全体会で報告したり、次回の要項に掲載したりすることで、全ての教職員が情報を共有できるように工夫しています。
- ・年2回、小学校教員が中学校に、中学校教員が小学校へ出向いて行う「小中連携あいさつ運動」を実施しています。また、「ノーテレビ・ノーゲームデー」も合同実施し、小・中学生のいる全ての家庭への啓発に取り組んでいます。
- ・小学校からの要請を受け、中学校教員が随時出前授業を行います。体育科「ハードル走」の学習では、ハードリングの指導があり、陸上記録会に向けて技術を向上させることができました。
- ・中学校の運動会に小学6年生の参加種目が設定されています。中学生と一緒に活動することで、学校の雰囲気を体感することができます。

○地域との交流活動

- ・「納涼さんさ踊り」や「久保公民館まつり」などの地域行事に、中学生がボランティアスタッフとして参加し、地域の方とふれあいます。地域の方が行事の当日に中学生を支援するのはもちろんですが、事前に中学校に出向いて説明会を開き、中学生が安心してボランティアに取り組めるようにしています。
- ・放課後子ども教室では、「たく保」を中心に地域の方が「木炭・竹炭づくり」「イネづくり体験」「生花教室」などを企画・運営し、ふるさとを愛する子どもを育成しています。



小中連携教育協議会



あいさつ運動



久保中学校運動会



納涼さんさ踊り



放課後子ども教室

成果と課題

学校間連携が進み、小学生が中学校生活の様子を知り、地域の先輩である中学生の活躍する姿を見ることは、中学生への憧れをもつことになり、中学入学前の不安と中1ギャップを解消することにつながっています。中学生にとっても、小学生とかかわる中で自己有用感を高めることができおり、人格形成に良い影響を及ぼすと考えています。教職員も、9年間を見据えた授業づくりの意識が高まり、授業力アップにもつながっています。

また、地域行事のボランティア活動への中学生の積極的な参加は、久保地域の活性化、まちづくりにつながっています。

今後の取組

小中連携に幼稚園が加わり、「たく保」の活動をリンクさせながら、地域のつながりをより強固なものにするとともに、活動の様子を積極的に地域に発信していくことで、学校応援団を増やしていきたいと思えます。また、「平日は学校が、休日は地域が主体となって子どもたちを育てている」久保中学校区の先進的な取組を、市内全域に広げていくために、「下松市地域協育ネット協議会」で発信していく予定にしています。